

古墳の中身をのぞいてみよう！「小針鎧塚古墳の石室復元模型」

博物館の展示資料は、実物資料ばかりではありません。さまざまな理由でその場で展示することができない資料は、複製や模型などを作製して展示する場合があります。例えば、発掘調査で得られた情報を積み上げることで往時の姿が分かる遺跡の様子などは、模型にすることでより分かりやすく見る側に情報を伝えることができます。

常設展示室「古代の行田」に展示されている小針鎧塚古墳の石室復元模型もその一つです。

小針鎧塚古墳は、小針地区の民家の裏山に遺されていた古墳で、昭和60年に石室部分が調査されました。築造は6世紀末ごろ、墳形は不明ですが、丁寧に石や粘土を積み上げて構築された石室の痕跡と石棺、副葬品などが検出されています。



小針鎧塚古墳の石室復元模型(当館蔵)

す。壁面に積み上げられた石材とそれらをしっかりと支える貼り込められた粘土の重なりなどの構造が見られるのはこうした復元展示ならではのです。石材は積み上げながら調整加工されたらしく、粘土の間に残された加工片も見ることが出来ます。実際の石室には、巨大な奥壁と組み合わせ式の石棺に秩父山の緑泥片岩、壁面には群馬県榛名山の角閃石安山岩が使われていたことが分かっています。緑泥片岩は「秩父の青石」とも呼ばれる青みがかった石材で、板状に剥離することからこうした古墳の石材の他、板石塔婆などにも使われました。

この石室から出土した副葬品は、模型の前に一緒に展示していますが、こちらは実物資料です。掛甲小札（掛甲は小さな板をつづり合わせた古代の甲、小札はその板）や耳飾りである金環、刀子、玉類などが出土しました。

調査で分かった情報から組み上げられた復元模型資料と、歴史を体感できる実物資料。さまざまな資料の展示によって、古代の人々が築いた文化を知ることが出来ます。

(郷土博物館 浅見貴子)

はじめまして



令和4年3月生まれのお子さんを募集します

- 1月4日(木)～31日(火)に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、2月2日(木)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和4年1月生まれのおともだち



大道口 万渾ちゃん(真名板)
令和4年1月1日生まれ
父・昌人さん 母・令奈さん
「これからの成長が楽しみです！」



小野寺 結大ちゃん(持田)
令和4年1月24日生まれ
父・俊さん 母・桃乃さん
「大きな怪我なく、元気に育ってね♡」



富岡 廉ちゃん(矢場)
令和4年1月20日生まれ
父・宏太さん 母・真梨乃さん
「元気に生まれてきてくれてありがとう！たくさん食べて大きくなあれ☆」



伊波 琉花ちゃん(藤原町)
令和4年1月23日生まれ
父・拓也さん 母・奈津子さん
「産まれてきてくれてありがとう」



鈴木 枝弦ちゃん(門井町)
令和4年1月28日生まれ
父・秀輔さん 母・芳枝さん
「いつもニコニコ、楽しい毎日をありがとう♡」



巻野 陽哉ちゃん(埼玉)
令和4年1月14日生まれ
父・伸哉さん 母・優子さん
「心の暖かい子に育ってね」

今月の表紙

今月の表紙は、市内在住の絵手紙作家の澤田 司さんに制作していただいた作品をモチーフに、正月の華やかさを表現しました。干支の卯があしらわれた絵手紙年賀状には「新年が心豊かになれますように」との思いが込められています。近年、静かなプームの絵手紙は、温かい手書きの文字が魅力です。新しい年が皆さんにとって幸多きものとなりますように。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



行田市のマイナンバーカード交付率46.8% (12月1日現在)



詳細は総務部ホームページ



環境にやさしい 植物油インキ

市報ぎょうだは再生紙を使用しています